

【緊急道路情報】

万世大路、二ツ小屋隧道米沢側で道路一部崩壊

—平成 28 年 8 月 2 日 栗子大雨 車両通行不可に、歩行者も注意が必要—

はじめに

「万世大路を守る会」岡部達也さんの情報によりますと、二ツ小屋隧道米沢側坑口から 200 メートルほど米沢側に進んだ所で道路右側が崩落し車両は現在通行出来ない状態になっていると云うことです。また、残存道路部路面の幅は 1 メートルもなく歩行者の通行も危険な状況になっているようで、現地を通行する場合は十分に注意する必要があるとのことである。この地点は、二ツ小屋隧道と烏川橋のほぼ中間になっていて、その崩壊規模は長さ（道路方向）約 12 メートル、幅約 2 メートル、高さ約 30 メートルとなっている（写真-1）。



【写真-1】 8月2日の大雨による道路崩壊箇所(二ツ小屋隧道米沢側坑口から米沢側へ約200mの地点)。米沢側を望む。写真右下、道路路面から沢水が流入している。右側下は烏川。H280803

崩落状況

8月2日(火)、福島では午後から激しい雨となり栗子方面でも200ミリ近い降雨があったと聞いている。道路法面の崩落は、既設の排水施設(側溝)では大量の雨水を処理できず路面にあふれた水が引き起こすことが多い。今回のケースもその類いと思われる。崩落箇所の上流にあたる二ツ小屋隧道の米沢側坑口では、覆工(コンクリートなどで覆われているトンネルの壁や天井のこと)コンクリートの天井部が崩落して穴が明いているところがあり、当該箇所がトンネル上部にある仮称白竜沢の流末となっていて沢水が流れ込んでくる。特に大雨時や雪解け時には大量の沢水が流れ込んできて、道路路面を流下して行くものと考えられる。今回もそれらの流水が崩壊箇所に集中し道路法面崩

落の原因になったものと思料される。(写真-2、参考写真)。また当該崩落箇所の山側からの沢水も要因の一つであったと思われる。



【写真-2】 二ツ小屋隧道米沢側坑口付近の覆工コンクリート崩壊箇所。トンネルの上の仮称白竜沢からの沢水流入状況。福島側を望む。H280805



【参考写真】 ニツ小屋隧道米沢側坑口。雪解け沢水が流入し道路本体路面を流下している。 H280424

ニツ小屋隧道米沢側坑口上部の状況及び仮称白竜沢については下記を参照して下さい。

<http://ootaki.xsrv.jp/26akitan2.pdf>

(4 頁及び9 頁)

トンネル内からの沢水については道路本体路面に流れ出さないように、岡部さんのご尽力により既設の右側側溝へ現在は導水されている(写真—3、4)。



【写真—3】 ニツ小屋隧道米沢側、トンネルからの沢水を右側にある既設側溝へ切回したところ。切回し前はトンネルからの沢水が道路本体路面を流下し崩落箇所集中したと思われる。 H280805



【写真—4】 ニツ小屋隧道米沢側、写真—3 の側溝の流末(既設横断暗渠箇所)。崩落箇所側から福島側を望む。 H280805

終わりに

道路崩落部について一部復旧したいと岡部さんが尽力中とお伺いしているけれども、いずれにしても万世大路をお楽しみされる方は十分に気を付けて現地をお通り下さい。最新の情報に留意されたい。

(写真提供：万世大路を守る会岡部達也さん、撮影月日各記載の通り。)